

ミルフォード&ルートバーン・トラックコースガイド

Milford Track

1日目 (約1.6km / 徒歩約30分)

朝、バスでテアナウへ。テアナウで昼食の後、バスでテアナウ・ダウンズへ移動し、さらにボートでテアナウ湖を渡って登山口へ。美しいブナの原生林の中を歩き、グレイドハウスへ。ロッジで、ともに歩く各国からの参加者が顔を合わせます。



▲テアナウ・ダウンズからボートに乗船

3日目 (約15km / 徒歩約7時間)

ミンタロ湖までのゆるやかな登りの後、ジグザグの急登を経てマッキノン峠へ。U字谷が足下に横たわり、氷河を抱いた山々が迫ります。峠の山小屋で昼食の後、クインティン・ロッジまで一気に下ります。時間があればサザーランド滝を往復。



▲マッキノン峠付近からクインティン谷を振り返る

4日目 (約21km / 徒歩約7時間)

アーサー川に沿って、さらに鬱蒼とした森の中を歩きます。美しい滝やシダが生い茂る森の姿を楽しみながら、ゴール地点のサンドフライ・ポイントへ、着後、船でミルフォード・サウンドへ。



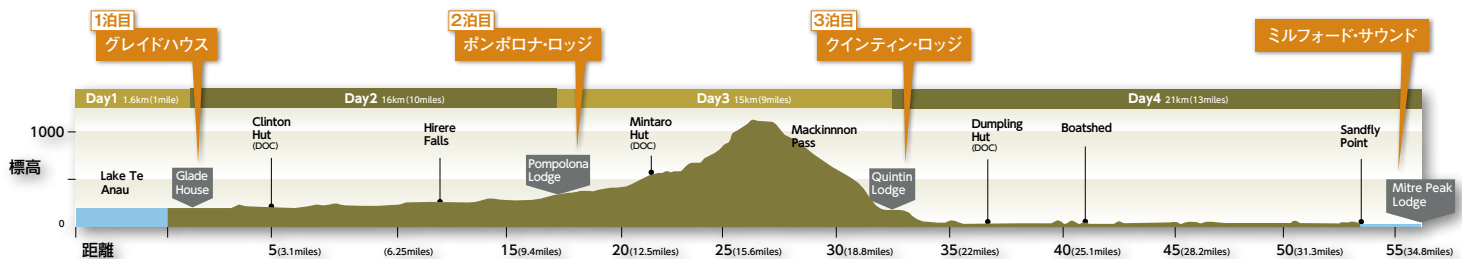
▲透明度が高い川の水

2日目 (約16km / 徒歩約6時間)

吊り橋でクリントン川を渡り、川沿いに伸びる原生林の中のトレイルを歩きます。ヒレレ・フォールズ小屋でランチをとり、翌日に越えるマッキノン峠を正面に見ながら、氷河が削ってできた雄大なU字谷の中を歩きます。ケアが多く集まるポンポロナ・ロッジへ。



▲マッキノン峠を正面に雄大なU字谷を進む



Routeburn Track

1日目 (約13km / 徒歩約6時間)

朝、バスでディバイド峠へ。樹林帯を登り、美しい湿原や山々の展望が素晴らしいキー・サミットを往復します。ハウデン湖畔で昼食の後、イヤーランド滝を経てマッケンジー・ロッジへ。エミリーピークを倒影するマッケンジー湖はすぐ近くです。



▲水しぶきをあげて流れ落ちるイヤーランド滝

2日目 (約15km / 徒歩約7時間)

マッケンジー湖畔からジグザグに登り、オーシャンピーク・コーナーへ。氷河を抱くダーラン山脈と広大なホリフォード谷の大パノラマが続くハリス峠までの約3時間はコース中のハイライト。ハリス湖を見ながら広々とした谷を下り、ルートバーン・フォールズ・ロッジへ。



▲ダーラン山脈の展望を楽しみながら歩く

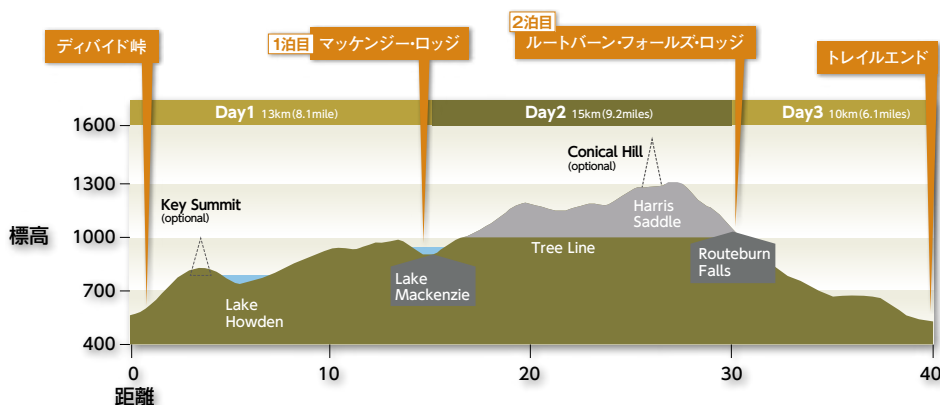
▼ルートバーンフラットで休憩タイム

3日目

(約10km / 徒歩約4時間)



樹林帯の中をルートバーン・フラットへと下ります。その後、いくつかの吊り橋を渡りながら、ルートバーンの流れに沿って下ります。途中、美しい河原で昼食をとった後、トレイルエンドでトレッキング終了。バスでグレノーキーの町に立ち寄り、クイーンズタウンへ戻ります。



アルティメイト・ハイクス社は、ニュージーランドを代表する9つのグレート・ウォークのうちの2つ、ミルフォードとルートバーン・トラックのガイド付きウォークを催行する唯一の会社です。30年以上の経験を誇り、お客様の安全と快適さを第一に考えて運行しています。1日の入山者数を制限して自然環境を守りながら、人々が快適なトレッキングを楽しめるように

設備の整ったロッジや美味しい食事を提供してくれるなど、日本の山小屋登山とはまったく趣の異なる山歩きをお楽しみいただけることでしょう。世界中から集まるメンバーとの交流も楽しみの一つです。現地トレッキングガイドとツアーリーダーをはじめ、数日ともに過ごす仲間との絆が深まり、完歩したときの達成感は格別です。

ツアーの流れ

初日の朝



現地トレッキングガイドとツアーに参加する世界中のメンバーが集まり、バスに乗って出発。

トレッキング



スタスタ進みたい方、ゆっくり歩きたい方、写真撮影に時間をとりたい方、スケッチをしたい方など、ご自身のペースで歩けます。3〜4人のガイドが前後、真ん中を歩き、分岐点では必ずガイドが待っていますので安心です。各ランチ場所にて、ガイドが暖かい飲み物を用意しています。(用意がない日もあります)

ロッジ



お部屋は男女別の相部屋。暖かいシャワーでリフレッシュ（タオル、ボディソープ、シャンプーつき）。



自身で洗濯。強力乾燥室がありますので夜には完全に乾きます。



コーヒー、お茶各種がそろい、スイーツやおつまみのおもてなしも。バーではビール、ワインなどを購入できます。



3コースの豪華な夕食に舌鼓

準備をして、 トレッキングスタート

翌朝



ランチ作り。豊富に揃う食材から、ご自身のサンドイッチをカスタマイズ。フルーツ、お菓子の用意もあります。朝食は、コンチネンタルブレイクファストの後にベーコンや卵料理など暖かい料理が提供されます。